nikko am
Nikko Asset Management

グローバル・プロスペクティブ・ファンド
＜愛称　イノベーティブ・フューチャー＞

運用報告書（全体版）

第１期（決算日　2020年５月20日）

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚くお礼申しあげます。
「グローバル・プロスペクティブ・ファンド」は、2020年５月20日に第１期の決算を行ないましたので、期中の運用状況をご報告申しあげます。
今後とも一層のお引き立てを賜りますようお願い申しあげます。

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／株式
信託期間	2019年６月28日から2029年５月21日までです。
運用方針	主として、日本を含む世界の金融商品取引所に上場されている、破壊的イノベーションを起こし得るビジネスを行なう企業の株式（預託証書を含みます。）を投資対象とする投資信託証券（投資信託または外国投資信託の受益証券（振替投資信託受益権を含みます。）および投資法人または外国投資法人の投資証券をいいます。）の一部、またはすべてに投資を行ない、中長期的な信託財産の成長をめざして運用を行ないます。
主要運用対象	「日興ＡＭ ＡＲＫディスラプティブ・イノベーション・ファンド クラスＡ」円建投資証券 「マネー・アカウント・マザーファンド」受益証券 上記の投資信託証券を主要投資対象とします。
組入制限	投資信託証券、短期社債等、コマーシャル・ペーパーおよび指定金銭信託以外の有価証券への直接投資は行ないません。 外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。
分配方針	毎決算時、原則として分配対象額のなかから、基準価額水準、市況動向などを勘案して分配を行なう方針です。 ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行なわないこともあります。

＜644730＞

日興アセットマネジメント株式会社
東京都港区赤坂九丁目７番１号
www.nikkoam.com/

当運用報告書に関するお問い合わせ先
コールセンター　電話番号：0120-25-1404
午前９時～午後５時　土、日、祝・休日は除きます。
●お取引状況等についてはご購入された販売会社にお問い合わせください。

【運用報告書の表記について】
・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

○設定以来の運用実績

決算期	基準価額			債券組入比率	投資信託証券組入比率	純資産総額
	(分配落)	税込み分配金	期中騰落率			
(設定日)	円	円	%	%	%	百万円
2019年６月28日	10,000	－	－	－	－	113,560
１期(2020年５月20日)	12,147	0	21.5	－	98.3	368,054

(注) 設定日の基準価額は、設定時の価額です。
(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」は実質比率を記載しております。
(注) 設定日の純資産総額は、設定元本を表示しております。
(注) ファンドの商品性格に適合する適切なベンチマークおよび参考指数はございません。

○当期中の基準価額と市況等の推移

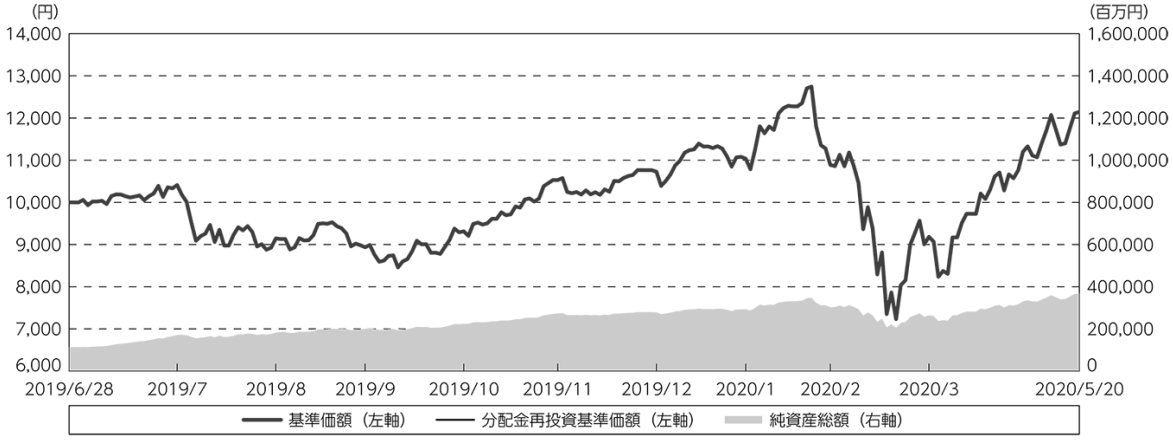
年月日	基準価額		投資信託証券組入比率
		騰落率	
(設定日)	円	%	%
2019年６月28日	10,000	－	－
７月末	10,409	4.1	96.5
８月末	9,145	△ 8.6	97.8
９月末	8,937	△10.6	97.8
10月末	9,313	△ 6.9	98.3
11月末	10,530	5.3	97.4
12月末	10,727	7.3	99.0
2020年１月末	11,036	10.4	98.5
２月末	10,888	8.9	98.1
３月末	9,183	△ 8.2	98.4
４月末	11,327	13.3	98.6
(期　末) 2020年５月20日	12,147	21.5	98.3

(注) 騰落率は設定日比です。

○運用経過

（2019年６月28日～2020年５月20日）

期中の基準価額等の推移



設定日：10,000円
期　末：12,147円（既払分配金(税込み)：0円）
騰落率：　21.5%（分配金再投資ベース）

（注）分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
（注）分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
（注）上記騰落率は、小数点以下第２位を四捨五入して表示しております。
（注）当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

○基準価額の主な変動要因

当ファンドは、主として、日本を含む世界の金融商品取引所に上場されている、破壊的イノベーションを起こし得るビジネスを行なう企業の株式（預託証書を含みます。）を投資対象とする投資信託証券に投資を行ない、中長期的な信託財産の成長をめざして運用を行なっております。当作成期間中における基準価額の主な変動要因は、以下の通りです。

＜値上がり要因＞
・新型コロナウイルスの世界的な感染拡大による混乱した状況が、投資対象である破壊的イノベーションを起こし得るビジネスを行なう企業にとって、普及率の加速と潜在市場の拡大などの恩恵を受けていると市場がみなしたこと。
・保有するヘルスケア企業が、市場の注目度の高いカンファレンスにおいて自社の医薬品の有効性に関してポジティブなデータ結果を公表したこと（2019年末～2020年初め）。
・保有するTesla Inc.や、Teladoc Health,Inc.などの銘柄が値上がりしたこと。

＜値下がり要因＞
・腫瘍治療分野の遺伝子解析ベースの診断検査に対する米国メディケア・メディケイド・サービスセンター（ＣＭＳ）の改定ＮＣＤ（医療保険給付金の決定）を巡って、保険が適用される検査が狭められることにより、遺伝子検査企業の売上の伸びが鈍化すると懸念されたこと。
・自動車セクターからの需要の減少や製造業者による購入の鈍化、2019年の米中貿易摩擦の激化などの影響を受けて、保有する３Ｄプリンティング企業の株価が低迷したこと。
・保有するIllumina,Inc.などの株価が売上成長率の鈍化などから相対的に不振となったこと。

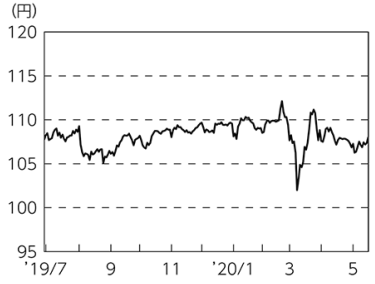
投資環境

（株式市況）
2019年後半のグローバル株式市場は、世界中で実施された金融緩和や米国における順イールドカーブ（利回り曲線）のスティープ化などを好感して、全般的に上昇しました。米中貿易協定の「第１段階」が具体化するにつれて、世界の主要国の購買担当者景気指数（ＰＭＩ）が安定化の様相を見せ、安全を求めるドル資産への逃避に歯止めがかかりました。消費支出は米国や中国などで環境が整いつつあることを示唆しました。しかし、2020年第１四半期に入って、各国の株式市場が総じて過去最高値を更新した後、突然下落の相場に転じました。特に３月は、投資家が新型コロナウイルスの経済活動への影響を懸念して保有資産の現金化のため銘柄の区別なく株式の全面的な売りを先行させるなか、グローバル株式市場の月間リターンが2008年以来で最低となりました。各国が新規感染者数の増加率を抑え新型コロナウイルスの感染拡大ペースを鈍化させるべく極端な対策を講じたため、市場では世界的な景気後退に陥るとの不安が高まりました。米国国債の利回りは過去最低水準へと低下しましたが米国連邦準備制度理事会（ＦＲＢ）が非常に積極的な金融緩和を行なったことから、イールドカーブは大幅にスティープ化しました。４月から期間末にかけてのグローバル株式市場は、全般的に新型コロナウイルス危機からの回復を見せました。財政・金融政策当局が新規感染者数の増加率を抑制させるべくかつてない規模の対策を講じたことから、世界的な景気後退に陥るとの不安は後退しはじめました。

（国内短期金利市況）
無担保コール翌日物金利は、期間の初めの－0.08%近辺から、日銀によるマイナス金利政策の下でコール市場でもマイナス圏での取引が続き、－0.06%近辺で期間末を迎えました。
国庫短期証券（ＴＢ）３ヵ月物金利は、期間の初めの－0.13%近辺から、日銀による国債買入れの継続などを受けてマイナス圏での推移が続き、－0.13%近辺で期間末を迎えました。

（為替市況）
　期間中における主要通貨（対円）は、右記の推移となりました。

円／アメリカドルの推移



当ファンドのポートフォリオ

（当ファンド）
　当ファンドは、収益性を追求するため、「日興ＡＭ　ＡＲＫディスラプティブ・イノベーション・ファンド　クラスＡ」円建投資証券を高位に組み入れ、「マネー・アカウント・マザーファンド」受益証券への投資を抑制しました。

（日興ＡＭ　ＡＲＫディスラプティブ・イノベーション・ファンド　クラスＡ）
　期間中の主な投資行動としては、低高度軌道の衛星コンステレーション（多数の衛星を統合して運用するシステム）による衛星通信ネットワークを有するIridium Communications,Inc.や、機械学習やデータ分析のアプリケーションで幅広く使われているフラッシュ（半導体メモリ）・ベースのデータストレージ（データ保管）・ソリューションにおけるリーディング企業であるPure Strage Inc.、デジタル・メディア分野で有望な投資機会を提供しているSnap Inc.、マーケティング企業にとって非常に価値の高いユーザー・ベースを有しているPinterest,Inc.、東南アジアのｅコマース・ゲーム企業であるSea Limitedなどの銘柄を新規に購入しました。
　一方、Aptiv PLCや、PayPal Holdings,Inc.、The Trade Desk,Inc.、Iovance Biotherapeutics,Inc.などの銘柄を売却して、より確信度が高くバリュエーション（株価評価）がより魅力的であると考える他の銘柄の投資機会を捉えるべく、入替えを行ないました。

（マネー・アカウント・マザーファンド）
　運用の基本方針に従い、国庫短期証券の購入や現先取引、コール・ローンや金銭信託などを通じて、元本の安全性を重視した運用を行ないました。

当ファンドのベンチマークとの差異

　当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

分配金

分配金は、基準価額水準、市況動向などを勘案し、以下のとおりといたしました。なお、分配金に充当しなかった収益につきましては、信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

○分配原資の内訳

（単位：円、１万口当たり、税込み）

項　　目	第１期 2019年６月28日～ 2020年５月20日
当期分配金	－
（対基準価額比率）	－％
当期の収益	－
当期の収益以外	－
翌期繰越分配対象額	2,167

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。
（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

○今後の運用方針

（当ファンド）

引き続き、「日興ＡＭ　ＡＲＫディスラプティブ・イノベーション・ファンド　クラスＡ」円建投資証券を原則として高位に組み入れ、「マネー・アカウント・マザーファンド」受益証券への投資を抑制する方針です。

（日興ＡＭ　ＡＲＫディスラプティブ・イノベーション・ファンド　クラスＡ）

新型コロナウイルスの影響による株式市場の弱気心理のピークは過ぎたように見受けられますが、株式市場はいわゆる底打ちの過程において不安定な動きが続く可能性があります。市場は悪いニュースを相当程度、織り込んでおり、2020年２月から３月にかけての株価の動きは過剰反応であったかもしれません。強いて言えば、株式市場の大幅な下落は新型コロナウイルスの感染拡大の深刻さを浮かび上がらせ、世界中の国々の政策当局を世界経済への影響を軽減し覆すための全面的な対策へと駆り立てたばかりでなく、個人や企業に対してソーシャル・ディスタンシング（社会的距離の確保）や衛生状態の改善により事態解決に貢献することの重要性を認識させました。一方、原油価格の下落は、最終的に大半の消費者や企業の購買力を大幅に増大させることになるとみられます。加えて、米国の消費者の貯蓄率が過去最高にまで上昇しており、繰り延べ消費需要が景気回復を支えると見込まれるほか、場合によってはこの需要が企業の想定を上回り、慌てた企業が増産などを行なう可能性も考えられます。

新型コロナウイルスが世界への影響を強めるなか、主要国の政策当局がその痛手の緩和と、当該疾患が引き起こす問題に革新的なソリューションを提供する企業との連携に全力を注いでいることを評価しています。不安や不透明感、疑念が強い時には、企業や消費者は、行動を変化させより生産性が高く、より安価で、より早く、より創造性に富む革新的な製品・サービスを求めることに、一段と積極的になります。その結果、激動の局面では、イノベーションが根付くとともに大幅な市場シェアを獲得しやすくなりますが、今回の新型コロナウイルスのパンデミック（世界的流行）はそのような局面の１つといえます。

将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

（マネー・アカウント・マザーファンド）

引き続き、安定した収益の確保をめざして安定運用を行なう方針です。主要投資対象は、わが国の国債および格付の高い公社債とし、それらの現先取引なども活用する方針です。また、コール・ローンや金銭信託などに投資することもあります。

将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

今後ともご愛顧賜りますよう、よろしくお願い申しあげます。

○１万口当たりの費用明細

（2019年６月28日～2020年５月20日）

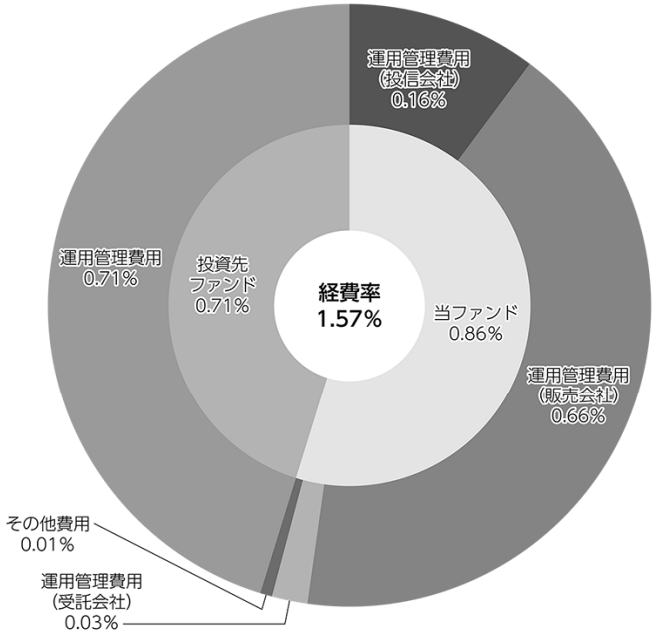
項目	当期 金額	当期 比率	項目の概要
	円	%	
(a) 信託報酬	78	0.769	(a)信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（投信会社）	(15)	(0.148)	委託した資金の運用の対価
（販売会社）	(60)	(0.591)	運用報告書など各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供などの対価
（受託会社）	(3)	(0.030)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) その他費用	1	0.005	(b)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（監査費用）	(0)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（印刷費用）	(0)	(0.001)	印刷費用は、法定開示資料の印刷に係る費用
（その他）	(0)	(0.000)	その他は、信託事務の処理等に要するその他の諸費用
合計	79	0.774	
期中の平均基準価額は、10,135円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
(注) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。
(注) 各比率は１万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第３位未満は四捨五入してあります。
(注) この他にファンドが投資対象とする投資先においても信託報酬等が発生する場合もあります。

（参考情報）

◯経費率（投資先ファンドの運用管理費用以外の費用を除く。）

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（１口当たり）を乗じた数で除した経費率（年率）は1.57％です。



（単位：％）

経費率（①＋②）	**1.57**
①当ファンドの費用の比率	0.86
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.71

（注）当ファンドの費用は１万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。
（注）各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。
（注）各比率は、年率換算した値です。
（注）投資先ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券（親投資信託を除く。）です。
（注）当ファンドの費用は、親投資信託が支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。
（注）当ファンドの費用と投資先ファンドの費用は、計上された期間が異なる場合があります。
（注）投資先ファンドには運用管理費用以外の費用がある場合がありますが、上記には含まれておりません。
（注）上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

（2019年６月28日～2020年５月20日）

投資信託証券

銘柄		買付		売付	
		口数	金額	口数	金額
		千口	千円	千口	千円
国内	日興AM ARKディスラプティブ・イノベーション・ファンド クラスA	295,787	293,259,337	－	－

（注）金額は受け渡し代金。

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘柄	設定		解約	
	口数	金額	口数	金額
	千口	千円	千口	千円
マネー・アカウント・マザーファンド	349,410	350,390	－	－

○利害関係人との取引状況等

（2019年６月28日～2020年５月20日）

利害関係人との取引状況

＜グローバル・プロスペクティブ・ファンド＞

区分	買付額等 A	うち利害関係人との取引状況B	B/A	売付額等 C	うち利害関係人との取引状況D	D/C
	百万円	百万円	%	百万円	百万円	%
投資信託証券	293,259	293,259	100.0	－	－	－
金銭信託	69,666	69,666	100.0	69,666	69,666	100.0

＜マネー・アカウント・マザーファンド＞

区分	買付額等 A	うち利害関係人との取引状況B	B/A	売付額等 C	うち利害関係人との取引状況D	D/C
	百万円	百万円	%	百万円	百万円	%
金銭信託	1,916	1,916	100.0	1,916	1,916	100.0

平均保有割合　40.5%

※平均保有割合とは、親投資信託の残存口数の合計に対する当ファンドの親投資信託所有口数の割合。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三井住友信託銀行株式会社です。

○第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況（2019年６月28日～2020年５月20日）

該当事項はございません。また委託会社に売買委託手数料は支払われておりません。

○自社による当ファンドの設定・解約状況　（2019年６月28日～2020年５月20日）

該当事項はございません。

○組入資産の明細　（2020年５月20日現在）

ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

銘柄	当期末		
	口数	評価額	比率
	千口	千円	%
日興AM ARKディスラプティブ・イノベーション・ファンド クラスA	295,787	361,807,363	98.3
合計	295,787	361,807,363	98.3

（注）比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

親投資信託残高

銘柄	当期末	
	口数	評価額
	千口	千円
マネー・アカウント・マザーファンド	349,410	350,318

（注）親投資信託の2020年５月20日現在の受益権総口数は、676,169千口です。

○投資信託財産の構成　（2020年５月20日現在）

項目	当期末	
	評価額	比率
	千円	%
投資証券	361,807,363	97.8
マネー・アカウント・マザーファンド	350,318	0.1
コール・ローン等、その他	7,733,014	2.1
投資信託財産総額	369,890,695	100.0

（注）比率は、投資信託財産総額に対する割合です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2020年5月20日現在)

項　　目	当 期 末
	円
(A) 資産	**369,890,695,255**
コール・ローン等	7,733,013,504
投資証券(評価額)	361,807,363,109
マネー・アカウント・マザーファンド(評価額)	350,318,642
(B) 負債	**1,836,450,247**
未払解約金	825,095,915
未払信託報酬	1,003,526,206
未払利息	12,745
その他未払費用	7,815,381
(C) 純資産総額(A－B)	**368,054,245,008**
元本	303,010,581,725
次期繰越損益金	65,043,663,283
(D) 受益権総口数	**303,010,581,725口**
1万口当たり基準価額(C／D)	**12,147円**

(注) 当ファンドの設定時元本額は113,560,376,999円、期中追加設定元本額は204,272,180,410円、期中一部解約元本額は14,821,975,684円です。

(注) 1口当たり純資産額は1.2147円です。

○損益の状況 (2019年6月28日～2020年5月20日)

項　　目	当　　期
	円
(A) 配当等収益	**△ 1,885,617**
受取利息	5,052
支払利息	△ 1,890,669
(B) 有価証券売買損益	**67,540,256,329**
売買益	68,872,213,222
売買損	△ 1,331,956,893
(C) 信託報酬等	**△ 1,860,652,241**
(D) 当期損益金(A＋B＋C)	**65,677,718,471**
(E) 追加信託差損益金	**△ 634,055,188**
(配当等相当額)	(△ 1,644,887)
(売買損益相当額)	(△ 632,410,301)
(F) 計(D＋E)	**65,043,663,283**
(G) 収益分配金	**0**
次期繰越損益金(F＋G)	**65,043,663,283**
追加信託差損益金	△ 634,055,188
(配当等相当額)	(△ 1,645,982)
(売買損益相当額)	(△ 632,409,206)
分配準備積立金	65,679,670,188
繰越損益金	△ 1,951,717

(注) 損益の状況の中で**(B)有価証券売買損益**は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で**(C)信託報酬等**には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) 損益の状況の中で**(E)追加信託差損益金**とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 分配金の計算過程 (2019年6月28日～2020年5月20日) は以下の通りです。

項　　目	2019年6月28日～2020年5月20日
a. 配当等収益(経費控除後)	0円
b. 有価証券売買等損益(経費控除後・繰越欠損金補填後)	65,679,670,188円
c. 信託約款に定める収益調整金	0円
d. 信託約款に定める分配準備積立金	0円
e. 分配対象収益(a＋b＋c＋d)	65,679,670,188円
f. 分配対象収益(1万口当たり)	2,167円
g. 分配金	0円

上記各資産の評価基準及び評価方法、また収益及び費用の計上区分等については、法律及び諸規則に基づき、一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して評価計上し処理しています。

○分配金のお知らせ

１万口当たり分配金（税込み）	0円

○お知らせ

約款変更について

2019年６月28日から2020年５月20日までの期間に実施いたしました約款変更はございません。

当ファンドの主要投資対象先の直近の運用状況について、法令および諸規則に基づき、次ページ以降にご報告申しあげます。

種類・項目		日興AM ARKディスラプティブ・イノベーション・ファンド クラスA ルクセンブルグ籍円建外国投資法人
運用の基本方針		
	基本方針	信託財産の中長期的な成長をめざして運用を行ないます。
	主な投資対象	世界の株式（預託証書等を含みます。）を主要投資対象とします。
	投資方針	・先進国および新興国の破壊的イノベーションに関連する企業の株式を主要投資対象とします。 ・銘柄選定は個別企業や産業に対する独自の分析に基づいて行なわれます。
	主な投資制限	・純資産の５％を超えてUCITSやその他UCIs（ETFを除きます。）への投資は行ないません。 ・原則として、同一発行体が発行する有価証券の組入れは、純資産総額の10%以内とします。 ・借入れ額は、純資産総額の10%以内とします。
	収益分配	投資主総会もしくは取締役会の決議で収益分配を行なうことがあります。
ファンドに係る費用		
	信託報酬など	純資産総額に対して年率0.8% （国内における消費税等相当額はかかりません。）
	申込手数料	ありません。
	信託財産留保額	ありません。
	その他の費用など	事務管理費用、資産の保管費用、有価証券売買時の売買委託手数料、設立に係る費用、法律顧問費用、監査費用、信託財産に関する租税など。
その他		
	投資顧問会社	日興アセットマネジメント アメリカズ・インク
	管理会社	日興ＡＭルクセンブルグ・エス・エイ
	信託期間	無期限
	決算日	原則として、毎年12月末日

◆投資ポートフォリオ

日興AM ARKディスラプティブ・イノベーション・ファンド

2019年12月31日現在

通貨	株数	明細	純資産に占める割合（%）	市場価格
		A. 証券取引所で相場が建てられているまたは他の規制市場で取り扱われている譲渡可能証券		
		普通株式（99.9%）*		
		アルゼンチン（1.9%）		
		インターネット（1.9%）		
USD	81,847	MercadoLibre, Inc.	1.9%	USD 46,811,573
		アルゼンチン合計		46,811,573
		ベルギー（1.9%）		
		ソフトウェア（1.9%）		
USD	2,654,048	Materialise NV - ADR	1.9	48,595,619
		ベルギー合計		48,595,619
		中国（1.0%）		
		インターネット（1.0%）		
HKD	514,338	Tencent Holdings Ltd.	1.0	24,793,418
		中国合計		24,793,418
		アイルランド（0.3%）		
		自動車部品・装置（0.3%）		
USD	85,132	Aptiv PLC	0.3	8,084,986
		アイルランド合計		8,084,986
		イスラエル（1.5%）		
		バイオテクノロジー（1.5%）		
USD	6,168,753	Compugen Ltd.	1.5	36,765,768
		イスラエル合計		36,765,768
		スウェーデン（0.5%）		
		インターネット（0.5%）		
USD	76,602	Spotify Technology S.A.	0.5	11,455,829
		スウェーデン合計		11,455,829
		スイス（5.0%）		
		バイオテクノロジー（5.0%）		
USD	2,079,677	CRISPR Therapeutics AG	5.0	126,662,728
		スイス合計		126,662,728
		米国（87.8%）		
		広告（2.1%）		
USD	205,705	Trade Desk, Inc. Class A	2.1	53,438,045
		航空宇宙・防衛（1.0%）		
USD	419,494	AeroVironment, Inc.	1.0	25,899,560
		自動車製造（9.8%）		
USD	591,759	Tesla, Inc.	9.8	247,550,542
		バイオテクノロジー（13.4%）		
USD	3,322,869	Editas Medicine, Inc.	3.9	98,390,151
USD	537,973	Illumina, Inc.	7.1	178,467,162
USD	8,339,088	Organovo Holdings, Inc.	0.1	2,966,214
USD	2,095,684	Veracyte, Inc.	2.3	58,511,497
		バイオテクノロジー合計		338,335,024
		商業サービス（10.5%）		
USD	4,181,193	2U, Inc.	4.0	100,306,820
USD	2,636,856	Square, Inc. Class A	6.5	164,961,711
		商業サービス合計		265,268,531
		コンピューター（5.4%）		
USD	1,611,681	ExOne Co.	0.5	12,023,140
USD	5,428,013	Stratasys Ltd.	4.4	109,781,563
USD	250,376	Zscaler, Inc.	0.5	11,642,484
		コンピューター合計		133,447,187
		総合金融サービス（4.2%）		
USD	3,285,039	LendingClub Corp.	1.6	41,457,192
USD	219,389	LendingTree, Inc.	2.6	66,571,398
		総合金融サービス合計		108,028,590

通貨	株数	明細	純資産に占める割合（%）		市場価格
		普通株式（99.9%）*（続き）			
		米国（87.8%）（続き）			
		ヘルスケア - 製品（4.6%）			
USD	7,280,617	Cerus Corp.	1.2%	USD	30,724,204
USD	3,023,350	NanoString Technologies, Inc.	3.4		84,109,597
		ヘルスケア - 製品合計			114,833,801
		ヘルスケア - サービス（6.0%）			
USD	7,677,137	Invitae Corp.	4.9		123,832,220
USD	329,364	Teladoc Health, Inc.	1.1		27,574,354
		ヘルスケア - サービス合計			151,406,574
		インターネット（11.9%）			
USD	1,271,803	Eventbrite, Inc. Class A	1.0		25,652,267
USD	120,064	Netflix, Inc.	1.6		38,849,108
USD	1,106,523	Pinterest, Inc. Class A	0.8		20,625,589
USD	562,092	Roku, Inc. Class A	3.0		75,264,119
USD	1,909,703	Twitter, Inc.	2.4		61,205,981
USD	1,675,934	Zillow Group, Inc. Class C	3.1		76,992,408
		インターネット合計			298,589,472
		その他製造（2.6%）			
USD	641,092	Proto Labs, Inc.	2.6		65,102,893
		医薬品（4.4%）			
USD	4,881,242	Intellia Therapeutics, Inc.	2.8		71,607,821
USD	5,434,478	Seres Therapeutics, Inc.	0.7		18,748,949
USD	3,133,118	Syros Pharmaceuticals, Inc.	0.9		21,649,845
		医薬品合計			112,006,615
		半導体（5.3%）			
USD	114,486	NVIDIA Corp.	1.1		26,938,556
USD	495,861	Teradyne, Inc.	1.3		33,812,762
USD	751,267	Xilinx, Inc.	2.9		73,451,374
		半導体合計			134,202,692
		ソフトウェア（6.6%）			
USD	162,132	Autodesk, Inc.	1.2		29,744,737
USD	319,143	salesforce.com, Inc.	2.1		51,905,418
USD	395,538	Splunk, Inc.	2.3		59,239,725
USD	151,708	Workday, Inc. Class A	1.0		24,948,381
		ソフトウェア合計			165,838,261
		米国合計			2,213,947,787
		普通株式合計（取得原価2,399,397,293米ドル）			2,517,117,708
		証券取引所で相場が建てられているまたは他の規制市場で取り扱われている譲渡可能証券合計（取得原価2,399,397,293米ドル）	99.9%	USD	2,517,117,708
		負債額を超過する現金およびその他の資産	0.1		2,654,672
		純資産合計	100.0%	USD	2,519,772,380

*すべての投資は公式取引所に上場されている譲渡可能証券である。

通貨表記

HKD	香港ドル
USD	米ドル

◆損益計算書および純資産変動計算書

日興AM ARKディスラプティブ・イノベーション・ファンド

2019年12月31日に終了した会計年度

		米ドル
純投資収益		
収益		
配当（源泉徴収税控除後）	USD	425,564
利息		52,595
収益合計		**478,159**
費用		
運用報酬		7,018,895
管理報酬		113,346
取引費用		1,006,714
監査報酬		4,564
名義書換代理人報酬		8,867
年次税		109,320
預託費用		103,977
弁護士報酬		62,597
設立費		1,599
その他の費用		27,510
費用合計		**8,457,389**
運用会社からの払戻		**(32,821)**
費用純額		**8,424,568**
純投資損失		**(7,946,409)**
実現および未実現純利益（損失）		
投資に係る実現純利益		34,122,836
外国為替取引および外国為替先渡契約に係る実現純利益		258,526
投資に係る未実現評価益の純変動額		118,146,803
外国為替取引および外国為替先渡契約に係る未実現評価益の純変動額		47,596
投資に係る実現および未実現純利益		**152,575,761**
運用による純資産の純増加額		**144,629,352**
資本取引による純資産の増加額		2,373,453,129
純資産の増加額合計		**2,518,082,481**
純資産		
期首		1,689,899
期末	**USD**	**2,519,772,380**

◆統計情報

日興AM ARKディスラプティブ・イノベーション・ファンド

2019年12月31日現在

		2019年12月31日 (1)
純資産合計		
日興ＡＭ ＡＲＫディスラプティブ・イノベーション・ファンド		
クラスA EUR	EUR	10,791,563
クラスA JPY	JPY	268,387,031,246
クラスA USD	USD	10,631,635
クラスB EUR	EUR	72,760
クラスB SGD	SGD	639,428
クラスB USD	USD	197,507
クラスS JPY	JPY	113,311,274
クラスU AUD	AUD	36,248,697
クラスU NZD	NZD	176,241
クラスA EUR（米ドル相当額）	USD	12,113,529
クラスA JPY（米ドル相当額）	USD	2,469,629,917
クラスB EUR（米ドル相当額）	USD	81,673
クラスB SGD（米ドル相当額）	USD	475,535
クラスS JPY（米ドル相当額）	USD	1,042,662
クラスU AUD（米ドル相当額）	USD	25,481,021
クラスU NZD（米ドル相当額）	USD	118,901
発行済受益証券口数		
日興ＡＭ ＡＲＫディスラプティブ・イノベーション・ファンド		
クラスA EUR		1,000,000
クラスA JPY		255,939,455
クラスA USD		1,020,987
クラスB EUR		6,200
クラスB SGD		64,731
クラスB USD		17,188
クラスS JPY		1,112
クラスU AUD		3,367,737
クラスU NZD		17,023
受益証券1口当たり純資産価額		
日興ＡＭ ＡＲＫディスラプティブ・イノベーション・ファンド		
クラスA EUR	EUR	10.79
クラスA JPY	JPY	1,048.63
クラスA USD	USD	10.41
クラスB EUR	EUR	11.74
クラスB SGD	SGD	9.88
クラスB USD	USD	11.49
クラスS JPY	JPY	101,898.63
クラスU AUD	AUD	10.76
クラスU NZD	NZD	10.35
クラスA EUR（米ドル相当額）	USD	12.11
クラスA JPY（米ドル相当額）	USD	9.65
クラスB EUR（米ドル相当額）	USD	13.17
クラスB SGD（米ドル相当額）	USD	7.35
クラスS JPY（米ドル相当額）	USD	937.65
クラスU AUD（米ドル相当額）	USD	7.57
クラスU NZD（米ドル相当額）	USD	6.98

(1) 日興ＡＭ ＡＲＫディスラプティブ・イノベーション・ファンドークラスB EURおよびクラスB USD受益証券は2019年１月31日に運用を開始した。
日興ＡＭ ＡＲＫディスラプティブ・イノベーション・ファンドークラスA JPY受益証券は2019年６月28日に運用を開始した。
日興ＡＭ ＡＲＫディスラプティブ・イノベーション・ファンドークラスA EUR受益証券は2019年８月19日に運用を開始した。
日興ＡＭ ＡＲＫディスラプティブ・イノベーション・ファンドークラスB SGD受益証券は2019年７月26日に運用を開始した。
日興ＡＭ ＡＲＫディスラプティブ・イノベーション・ファンドークラスU NZD受益証券は2019年９月16日に運用を開始した。

マネー・アカウント・マザーファンド

運 用 報 告 書

第10期（決算日　2019年10月15日）
（2018年10月13日～2019年10月15日）

当ファンドの仕組みは次の通りです。

信　託　期　間	2009年10月30日から原則無期限です。
運　用　方　針	公社債への投資により、安定した収益の確保をめざして安定運用を行ないます。
主 要 運 用 対 象	わが国の国債および格付の高い公社債を主要投資対象とします。
組　入　制　限	株式への投資は行ないません。 外貨建資産への投資は行ないません。

フ　ァ　ン　ド　概　要

主として、わが国の国債および格付の高い公社債に投資を行ない、利息等収益の確保をめざして運用を行ないます。
ただし、市況動向に急激な変化が生じたとき、ならびに残存信託期間、残存元本が運用に支障をきたす水準となったときなどやむを得ない事情が発生した場合には、上記のような運用ができない場合があります。

日興アセットマネジメント

<636843>

【運用報告書の表記について】
・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

○最近５期の運用実績

決算期	基準価額		債券組入比率	純資産総額
		期中騰落率		
	円	%	%	百万円
6期(2015年10月13日)	10,043	0.0	62.9	620
7期(2016年10月12日)	10,042	△0.0	－	483
8期(2017年10月12日)	10,038	△0.0	－	661
9期(2018年10月12日)	10,032	△0.1	－	595
10期(2019年10月15日)	10,028	△0.0	－	586

(注) ファンドの商品性格に適合する適切なベンチマークおよび参考指数はございません。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額	
		騰落率
(期　首)	円	%
2018年10月12日	10,032	－
10月末	10,032	0.0
11月末	10,032	0.0
12月末	10,031	△0.0
2019年１月末	10,031	△0.0
２月末	10,030	△0.0
３月末	10,030	△0.0
４月末	10,030	△0.0
５月末	10,029	△0.0
６月末	10,029	△0.0
７月末	10,028	△0.0
８月末	10,028	△0.0
９月末	10,028	△0.0
(期　末)		
2019年10月15日	10,028	△0.0

(注) 騰落率は期首比です。

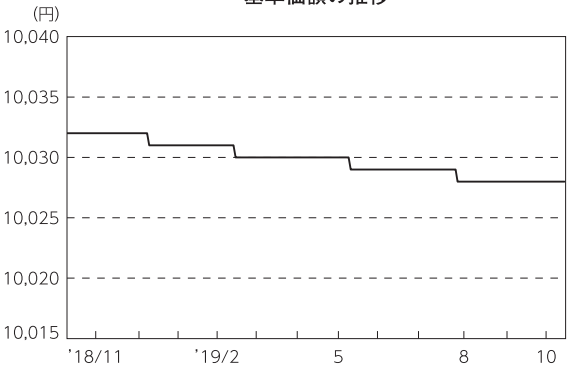
○運用経過

（2018年10月13日～2019年10月15日）

基準価額の推移

期間の初め10,032円の基準価額は、期間末に10,028円となり、騰落率は△0.0%となりました。

基準価額の推移



期　首	期中高値	期中安値	期　末
2018/10/12	2018/10/15	2019/07/29	2019/10/15
10,032円	10,032円	10,028円	10,028円

基準価額の変動要因

期間中、基準価額に影響した主な要因は以下の通りです。

＜値下がり要因＞
・無担保コール翌日物金利がマイナス圏で推移したこと。

（国内短期金利市況）

無担保コール翌日物金利は、期間の初めの－0.04%近辺から、日銀によるマイナス金利政策の下でコール市場でもマイナス圏での取引が続き、－0.01%近辺で期間末を迎えました。

国庫短期証券（ＴＢ）３ヵ月物金利は、期間の初めの－0.31%近辺から、日銀による国債買入れの継続などを受けてマイナス圏での推移が続き、－0.29%近辺で期間末を迎えました。

ポートフォリオ

運用の基本方針に従い、国庫短期証券の購入や現先取引、コール・ローンや金銭信託などを通じて、元本の安全性を重視した運用を行ないました。

○今後の運用方針

引き続き、安定した収益の確保をめざして安定運用を行なう方針です。主要投資対象は原則として、わが国の国債および格付の高い公社債とし、それらの現先取引なども活用する方針です。また、コール・ローンや金銭信託などに投資することもあります。

将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

○１万口当たりの費用明細

（2018年10月13日～2019年10月15日）

項目	当期 金額	当期 比率	項目の概要
	円	%	
(a) その他費用	1	0.005	(a)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（その他）	(1)	(0.005)	その他は、信託事務の処理等に要するその他の諸費用
合計	1	0.005	
期中の平均基準価額は、10,029円です。			

（注）各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
（注）各比率は１万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第３位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

（2018年10月13日～2019年10月15日）

該当事項はございません。

○利害関係人との取引状況等

（2018年10月13日～2019年10月15日）

利害関係人との取引状況

区分	買付額等 A	うち利害関係人との取引状況B	B/A	売付額等 C	うち利害関係人との取引状況D	D/C
	百万円	百万円	%	百万円	百万円	%
金銭信託	6,648	6,648	100.0	6,648	6,648	100.0

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三井住友信託銀行株式会社です。

○第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況（2018年10月13日～2019年10月15日）

該当事項はございません。また委託会社に売買委託手数料は支払われておりません。

○組入資産の明細

(2019年10月15日現在)

2019年10月15日現在、有価証券等の組入れはございません。

○投資信託財産の構成

(2019年10月15日現在)

項目	当期末	
	評価額	比率
	千円	%
コール・ローン等、その他	587,539	100.0
投資信託財産総額	587,539	100.0

(注) 比率は、投資信託財産総額に対する割合です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況

（2019年10月15日現在）

項目	当期末
	円
(A) 資産	587,539,135
コール・ローン等	587,539,135
(B) 負債	566,667
未払解約金	566,564
未払利息	103
(C) 純資産総額（A－B）	586,972,468
元本	585,356,899
次期繰越損益金	1,615,569
(D) 受益権総口数	585,356,899口
１万口当たり基準価額（C／D）	10,028円

（注）当ファンドの期首元本額は594,074,221円、期中追加設定元本額は238,040,716円、期中一部解約元本額は246,758,038円です。

（注）2019年10月15日現在の元本の内訳は以下の通りです。

・中華圏株式ファンド（毎月分配型）	206,424,997円
・グローバル・プロスペクティブ・ファンド	202,343,309円
・アジア社債ファンド Bコース（為替ヘッジなし）	20,897,941円
・資源株ファンド 通貨選択シリーズ<ブラジルレアル・コース>（毎月分配型）	20,061,866円
・エマージング・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（マネープールファンド）	13,870,727円
・インデックスファンドＭＬＰ（毎月分配型）	11,942,765円
・エマージング・ハイ・イールド・ボンド・ファンド・ブラジルレアルコース	10,967,392円
・エマージング・プラス（マネープールファンド）	10,557,157円
・アジア・ヘルスケア株式ファンド	10,368,109円
・世界標準債券ファンド	9,573,068円
・アジアリートファンド（毎月分配型）	7,592,716円
・アジア社債ファンド Aコース（為替ヘッジあり）	7,033,730円
・エマージング・プラス・成長戦略コース	6,712,463円
・ＲＳ豪ドル債券ファンド	5,978,333円
・ピムコＵＳハイインカム・ローン・ファンド（毎月分配型）為替ヘッジなし	5,813,207円
・オーストラリア・インカム株式ファンド（毎月分配型）	3,439,097円
・日興ハイブリッド3分法ファンド毎月分配型（新興国通貨戦略コース）	3,102,333円
・グリーン世銀債ファンド	2,959,931円
・グローバルＣｏＣｏ債ファンド 円ヘッジコース	2,620,710円
・アジアＲＥＩＴオープン（毎月分配型）	2,534,133円
・資源株ファンド 通貨選択シリーズ<オーストラリアドル・コース>（毎月分配型）	1,763,739円
・エマージング・プラス・円戦略コース	1,734,939円
・ＳＭＢＣ・日興 世銀債ファンド	1,691,081円
・資源株ファンド 通貨選択シリーズ<米ドル・コース>（毎月分配型）	1,668,669円
・高金利成長通貨ファンド（毎月分配型）	1,473,949円
・日興マネー・アカウント・ファンド	1,125,339円
・インデックスファンドＭＬＰ（１年決算型）	1,080,880円
・ノーロード・インド株式フォーカス（毎月分配型）	1,062,937円
・欧州社債ファンド Bコース（為替ヘッジなし）	1,055,594円
・ピムコＵＳハイインカム・ローン・ファンド（毎月分配型）為替ヘッジあり	1,034,578円
・アジア・ハイイールド債券ファンド（為替ヘッジなし）	822,374円
・日興グラビティ・ファンド	765,053円
・エマージング・ハイ・イールド・ボンド・ファンド・資源国3通貨コース	623,465円
・グローバルＣｏＣｏ債ファンド 新興国高金利通貨コース	519,821円
・グローバルＣｏＣｏ債ファンド ヘッジなしコース	484,618円
・欧州社債ファンド Aコース（為替ヘッジあり）	466,936円
・日興ハイブリッド3分法ファンド毎月分配型（円ヘッジコース）	454,107円
・エマージング・ハイ・イールド・ボンド・ファンド・円コース	434,138円
・世界標準債券ファンド（１年決算型）	413,586円
・アジア・ハイイールド債券ファンド（為替ヘッジあり）	377,932円
・グローバルＣｏＣｏ債ファンド 先進国高金利通貨コース	361,850円
・資源株ファンド 通貨選択シリーズ<南アフリカランド・コース>（毎月分配型）	189,420円
・日興ハイブリッド3分法ファンド毎月分配型（通貨プレミアムコース）	164,194円
・グローバル株式トップフォーカス	121,897円
・日興ハイブリッド3分法ファンド毎月分配型（ヘッジなしコース）	109,758円
・上場インデックスファンド海外新興国株式（MSCIエマージング）	99,902円
・ＡＢグローバル・ハイインカム・オープン（１年決算型）為替ヘッジあり	98,529円
・インデックスファンドＭＬＰ・為替ヘッジあり（適格機関投資家向け）	63,097円
・ノーロード・シンガポール高配当株式フォーカス（毎月分配型）	61,585円
・グローバル・ハイブリッド・プレミア（為替ヘッジあり）	53,524円
・グローバル・ハイブリッド・プレミア（為替ヘッジなし）	37,483円
・上場インデックスファンド海外先進国株式（MSCI-KOKUSAI）	19,997円
・上場インデックスファンド米国株式（S&P500）	19,983円
・上場インデックスファンド豪州リート（S&P/ASX200 A-REIT）	19,977円
・ＡＢグローバル・ハイインカム・オープン（毎月分配型）為替ヘッジなし	19,536円
・アジア債券ファンド（毎月分配型）	14,422円
・ＡＢグローバル・ハイインカム・オープン（１年決算型）為替ヘッジなし	10,129円
・上場インデックスファンド新興国債券	9,981円
・上場インデックスファンド米国株式（S&P500）為替ヘッジあり	9,967円
・上場インデックスファンド米国債券（為替ヘッジなし）	9,958円
・上場インデックスファンド米国債券（為替ヘッジあり）	9,958円
・ＡＢグローバル・ハイインカム・オープン（毎月分配型）為替ヘッジあり	4,033円

（注）１口当たり純資産額は1.0028円です。

○損益の状況

(2018年10月13日～2019年10月15日)

項目	当期
	円
(A) 配当等収益	△ 226,411
受取利息	1,324
支払利息	△ 227,735
(B) 保管費用等	△ 26,156
(C) 当期損益金(A＋B)	△ 252,567
(D) 前期繰越損益金	1,925,202
(E) 追加信託差損益金	688,138
(F) 解約差損益金	△ 745,204
(G) 計(C＋D＋E＋F)	1,615,569
次期繰越損益金(G)	1,615,569

(注) 損益の状況の中で**(E)追加信託差損益金**とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。
(注) 損益の状況の中で**(F)解約差損益金**とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

上記各資産の評価基準及び評価方法、また収益及び費用の計上区分等については、法律及び諸規則に基づき、一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して評価計上し処理しています。

○お知らせ

約款変更について

2018年10月13日から2019年10月15日までの期間に実施いたしました約款変更は以下の通りです。

●当社ホームページにおいて、より高い安全性を確保するためのセキュリティ対策としてＨＴＴＰＳ化を実施することに伴ない、当ファンドの信託約款における当社ホームページＵＲＬの表示を「www.nikkoam.com/」へ変更するべく、2019年１月12日付けにて信託約款に所要の変更を行ないました。(第47条)